

会議記録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第33回史跡高松城跡整備会議石垣部会
開催日時	令和8年3月23日(月) 13時30分～16時
開催場所	玉藻公園 披雲閣 松の間
議題	(1) 本丸南面石垣の解体範囲について
公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	胡委員・北野委員・山中委員
傍聴者	1人
担当課及び連絡先	文化財課 823-2714

協議経過及び協議結果

会議を開会し、次の議題について報告し、下記の結果となった。

議題(1) 本丸南面石垣の解体範囲について

(事務局) 石垣破損状況と崩落要因、修理方針、解体範囲案の説明を行った。

(委員) クリノポールを設置し観測しているところだが、現在 X 軸(石垣に直交する方向)へ約 0.2° 傾斜している様子が確認できる。設置から 1 か月程度でその程度の動きはかなり大きな変化と評価する。

(委員) 昭和 40 年代のき損箇所の修理図面をみると裏栗石があるように記されるが、そのように施工されたのか。

(事務局) 当時の写真からは確認がとれない。今回解体範囲で追検証したい。

(委員) 解体修理方針の中に本丸内の排水方法がうたわれていないため、追記すること。

(委員) 昭和 40 年代の写真を確認すると、石垣上に樹木が見えるが、過去に松などの樹木が生えていた可能性はあるのか、古写真を確認すること。樹木の根による空隙の可能性も考えられる。

(事務局) 現段階では確認できていない。令和 4 年度に古写真を集成した報告書を刊行

しているので、今後確認したい。

(委員) 解体範囲は案のとおりでよいと思われる。また、根石の構造については調査時に折れ等があるのか確認が必要である。

(委員) 地盤の構造の確認が必要である。また、変形が顕著になっているため早期の解体修理が求められる。解体修理に際して雨水の対策を検討すべきである。

(事務局) 雨水の対策については今後検討したい。